

## 資料1-2

## 報告・評価シート

【報告日 令和7年 6月 23日】

【評価日 令和7年 月 日】

項目	【事業所記入欄】					
1 施設概要	事業者名	ユアブレイン株式会社			人員配置	
	指定日	令和6年	1月	1日		
	所在地	千葉県君津市南久保1-13-6				
	定員数（共同生活援助）	20人				
	定員数（短期入所）	2人				
	共同生活住居数	2戸				
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			
	Ka-fu1階		10名			
	Ka-fu2階		10名			
	【住居名を記載】		名			
2 利用者状況 (令和7年6月20日 現在)	障害支援区分		人数		内訳	
	非該当		0人			
	区分1		0人			
	区分2		0人			
	区分3		3人			
	区分4		5人			
	区分5		8人			
	区分6		4人			
	合計		20人			
	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）					
3 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
	・ 買い物、通院同行					
	・ アクティビティ（散歩や誕生日、季節ごとのイベント）					
	・ ホーム内で折り紙や塗り絵、小物作りを行い、ホーム内に作品を展示					
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について					
	前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 11人					
	就労継続支援B型、生活介護					
	・ 利用者に配慮した部屋割りとなっており、安心して過ごせる工夫が感じられる。					
	・ 毎日入浴ができるよう、吊り上げリフト浴を各階に導入するなど、入居者のためにできることを行っている。					
	・ 活動内容は利用者の希望を聞きながら決められており、なるべく多くの方が参加できるよう考えられている。					
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・ 継続的な支援は大変だと思うが、運動不足予防のために今後も継続していただきたい。				・ 同一法人の介護包括型グループホームと協力し合い、人員体制を整えている。支援員が規定通り勤務していることは、利用者の安心安全に繋がるため、継続して欲しい。	
	・ 今ある資源（場所や車両）でなんとか工夫して様々な余暇活動を行おうとする姿勢が感じられる。					
	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。					
	ホームでの運動不足を防ぐために定期的な体操（ロコモコ体操）や公園までの散歩、バトミントン等を行い支援に努めている。また、余暇活動の一環で打ち上げ花火を鑑賞するなどの支援を行っている。					
	・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。					
	体験利用人数 22名					
	介護包括型グループホームで日中職員配置がなく困っている方を受け入れることで安心感を提供できている。					
	・ 日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか					
	体調不良により日中活動を休んだ場合や、土日祝日で活動がお休みの場合でも常時職員配置を行っている。					
	5 支援体制の確保について					

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	・入口ドアは開放されていて、来客や見学者をいつでも受け入れられる環境ができています。 ・家族や近隣住民も参加できるイベントを計画しており、地域との交流に繋がる取り組みを心がけている。				
	家族：日常の様子や書類関係での内容を連絡したり、見学会の問い合わせに関しては随時対応している。 地域交流：自治会への挨拶や大量に収穫した野菜を近隣の方に配布するなど交流を心がけている。					
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。					
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="352 412 596 456">受け入れ人数</td><td data-bbox="596 412 900 456">実 習 生： 0人</td></tr> <tr> <td></td><td data-bbox="596 456 900 479">ボランティア： 2人</td></tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生： 0人		ボランティア： 2人
	受け入れ人数		実 習 生： 0人			
	ボランティア： 2人					
知人からの依頼でボランティア2名を受け入れている。今後は実習生も受け入れていくために、実習指導の研修を受けたい。						
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	・短期入所枠はほとんど空きがないほど利用希望者が多いとのこと。宿泊が難しい方でもできる限り受け入れを行っており、積極的に対応されている。 ・介護包括型グループホームでは支援が難しい方の受け入れをする一方で、日中支援型でなくても問題がないと思われる方を介護包括型へ移行させるなど、それぞれの利用者に応じた対応をしている。				
	地域で生活困難な方を随時受け入れ対応している。					
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。					
	緊急時や一時的な支援を随時受け入れ対応している。					
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	生活状況や日中活動の出来事を共有したりと密に連絡を取り合って利用者様一人ひとりの支援を行っている。	・密に連絡を取り合うことで、それぞれの状況に合ったサービスの提供に繋がるので引き続き連携をお願いしたい。				
9 その他						